

- ・能登半島地震被災者支援
- ・ウォーリズ学園 100 周年記念
- ・ツッカーハウス再建一周年記念
- ・近江養療院開院記念日
- ・ハイド館教育会館支援
- ・滋賀 YMCA リーダー育成基金

チャリティー・ファミリー

ニューオリンズ ジャズコンサート

—「アメイジングレイス」などの讃美歌から「聖者の行進」はじめスタンダード曲の数々—

誰でも楽しめる伝統的ジャズを演奏

「ニューオリンズ ジャズハウズ」
2005年早稲田大学ニューオリンズ
ジャズクラブシニアが結成。東京浅草はじめ全国で活躍の実力派プロフ
エッショナルバンド。ルイジアナ州ニ
ューオリンズジャズ&ヘリテイジ・フェ
スティバルにおいても高い評価を得
る。2018年ハイド記念館チャリティ
コンサートに続き 2 回目の来幡。

上段左より守屋雄策(バンジョー)
伊藤譲一(ウッドベース) 下段左よ
り 田村麻紀子(クラリネット)
加藤晋一(トランペット)



5月 25 日(土)

13:30~14:50 ハイド記念館・教育会館

市井町177 ウォーリズ学園 TEL 0748-32-3444

18:30~19:50 滋賀 YMCA

鷹飼町537-3 TEL 0748-33-2420

5月 26 日(日)

13:30~14:50 ツッカーハウス

定員:先着 20 名

北ノ庄町492 旧ウォーリズ記念病院

お問い合わせ:ウォーリズ学園 ハイド記念館

TEL 0748-32-3444 (担当 辻)

入場料: 2000円 小中高生専大生500円 幼児無料(保護者同伴)

受付申込: 各会場開演 30 分前より入場料と共に受付にてお申込ください

共 催: ニューオリンズジャズファミリーチャリティーコンサート実行委員会
NPO 法人ウォーリズ遺産を守る市民の会

協 力: 近江兄弟社グループ 滋賀YMCA 国際ワイズメンズクラブびわこ部
(社福)おうみ福祉会 近江八幡観光ボランティアガイド協会

<ニューオリンズジャズ物語>

米国南部プランテーションで奴隸制度にあったルイジアナ州の黒の人々には週一度の休み、集会の自由があり太鼓などの楽器を使い、故郷のアフリカ音楽、フランス風音楽を合奏していました。南北戦争後に放出された軍楽隊の管楽器を一応解放となった彼らが使い、ジャズが誕生したと言われます。教会での讃美歌、各国の移民の民族音楽もジャズのルーツに影響を与え、社会的弱者として生きる彼らのニューオリンズジャズは人々へ希望と勇気を与える「平和の音楽」といわれます。

<日米友情人形交流とニューオリンズの縁>

W.M.ヴォーリズ(1880~1964)と日米人形友情交流提唱者シドニー・ギューリックⅠ世(1860~1945)は盟友として、同志社カレッジソングを共作。1927年(昭和2年)ギューリックⅠ世は日米関係改善を願い、渋沢栄一と協力し12,739体の西洋人形を日本全国の小学校、幼稚園へ送りました。各地で盛大な歓迎式が行われ、ヴォーリズも代理として、当時の滋賀県知事の子女にお人形を贈呈。翌年、答礼として、各県単位で58体の市松人形が米国各州へ送られ、滋賀県からはマイアミ州へ。悲しいことに太平洋戦争中、米国からのお人形は敵のスパイとして、多くが処分されましたが、それらお人形の内、約三百数十体が現存し、滋賀県には、稻枝北小、日野小、甲南第二小に大切に保管されています。孫のギューリックⅢ世は祖父の友人であるヴォーリズが興した近江兄弟社グループ・YMCAの働きと共に鳴り響いた2022年クリスマスイブにヴォーリズ学園へ“Vicky”と“Vivian”、滋賀YMCAへ“Shanon”的お人形達を贈呈。2023年5月には夫妻が近江八幡を訪問しヴォーリズ縁の方々と交流。11月にはヴォーリズ記念病院へもお人形“Mia”が贈られました。



<実行委員敬称略五十音順>池田隆男 井之上温代
佐々木常雄 澤谷久枝 田中浩一 辻 友子 西堀寛子 東森俊之 櫻山秋彦 三崎清治 村西耕爾
藪 秀実 ヴォーリズ学園同窓会事務局



シドニー・ギューリックⅠ世は若き頃(1888・明21年—1894・明27年)に熊本英学校の教師及び熊本草葉町教会宣教師とし初来日。(弟のルーサー・ギューリックは米国YMCA主事。YMCAのママーク・Spirit, Mind & Bodyの考案者。バスケットボール発案者の一人)。

1986年「横浜人形の家」(初代館長・兼高かおる)の開館式に孫のギューリックⅢ世夫妻が横浜YMCAを通して招かれ、横浜YMCAとⅢ世は、新日米友情人形交流を再開。ギューリックⅢ世夫妻は祖父Ⅰ世と縁の熊本へ娘シャロンちゃんと友情人形たちと共に1988年3月に訪問。YMCAと市民有志は同年秋、昭和初年の交流先ニューオリンズへ、阿蘇太郎、阿蘇境子の市松人形2体を返礼として贈呈。しかしこれら人形は2005年のハリケーン・カタリーナ災害により流失。2007年秋、YMCAと熊本市民はハリケーン被災者支援のため、「ニューオリンズジャズハウズ」のリーダー東海林幹雄さんの協力を得、ニューオリンズから実力派ジャズバンド「渡辺真理とフォーチュンズ」を招き、熊本・鹿児島で約1,500名が集うチャリティコンサートを開催。益金をニューオリンズジャズメンクリニックとニューオリンズYMCA保育園へ届けました。その折の東京会場は日本基督教団山手教会(当時の牧師は元近江八幡教会副牧師の長崎哲夫さん)でした。その後ヴォーリズの偉業を知った東海林さんとジャズハウズは2018年にハイド記念館支援コンサートを行い、続く2020年の計画はコロナ禍で中止となりました。残念にも1昨年東海林さんは他界されました。このたび彼の遺志を継ぐ4メンバーが6年ぶりにチャリティコンサートを行います。

小野春男 久保田展史 小山哲夫 佐田幹男
辻 友子 西堀寛子 東森俊之 櫻山秋彦 三崎清治 村西耕爾